

2021年4月21日

脳神経外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名]

神経膠腫の診断および悪性度評価に MRI および分子イメージング (PET) 検査を用いた画像評価を調べる後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

(氏名) 三宅啓介 (所属) 脳神経外科学 (職名) 教授

[研究の目的]

神経膠腫の診断は、MRI 画像の形態学を中心とした診断となりますが、MRI 検査のみの診断では神経膠腫の正確な診断および悪性度の評価を誤ることがあります。分子イメージング PET 検査は、代謝機能把握に有用であると考えられています。この研究は、神経膠腫の患者さんに対して行った MRI 検査および PET 検査の結果と摘出した神経膠腫の組織分類や悪性度評価とを照らし合わせて、PET 検査から神経膠腫の組織分類や悪性度評価の診断が可能であるのかを検討します。つまり、神経膠腫疾患の診断の向上に役立てるため行う研究です。

[研究の方法]

対象となる患者さん

神経膠腫疾患の患者さんで、2009年4月1日から2019年3月31日の間に、脳神経外科に通院・入院された方

利用する診療情報

診療情報：診断名、年齢、性別、病変の左右差、病変部位、検査結果[血液検査(骨髄抑制、肝腎機能障害)、画像検査(頭部MRI検査ならびPET検査(FDG、MET、FLT、FMISO)の集積ならび集積の体積、無増悪生存期間および全生存期間]

[研究組織]

香川大学 医学部 脳神経外科学 三宅啓介

[研究代表者]

香川大学 医学部 脳神経外科学 三宅啓介

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院脳神経外科 担当医師 三宅 啓介

電話 087-891-2207 FAX 087-891-2208